

## 腎臓病学

責任者・コーディネーター	医学部泌尿器科学講座 藤岡 知昭 教授		
担当講座・学科(分野)	医学部内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野、医学部泌尿器科学講座、医学部放射線医学講座、医学部内科学講座消化器・肝臓内科分野、医学部内科学講座糖尿病・代謝内科分野、医学部内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野、医学部外科学講座、医学部産婦人科学講座		
担当教員	相馬 淳 非常勤講師、阿部 貴弥 講師、川村 実 非常勤講師、加藤 健一 特任講師、加藤 章信 客員教授、高橋 和真 准教授、小林 仁 准教授、加藤 陽一郎 助教、藤岡 知昭 教授、水野 大 准教授、杉村 淳 講師、大森 聡 講師、福島 明宗 教授		
対象学年	3	区分・時間数	講義 30.0 時間
期間	後期		

### ・学習方針（講義概要等）

腎臓病学は腎臓におこる病的状態を的確に診断し、これを治療するために必要な知識や技術を探求あるいは開発する学問である。腎臓病には腎臓を中心として発病する（原発性）疾患と他臓器の疾患や全身疾患などに関わって発病する（続発性）疾患とがあるが、これら腎臓に病的状態を引き起こす全ての病態が腎臓病学の研究の対象になっている。講義を通してこれらの知識を深める。

### ・一般目標（GIO）

腎臓病の患者を一般医として正しく管理できるようになるために、基礎的な腎臓病患者の診断・治療に関する知識と理解力、問題解決力を身につける。

### ・到達目標（SBO）

1. 尿細管の解剖生理、水・電解質代謝について説明できる。
2. 糸球体腎炎を組織的に分類し、それぞれの病態を説明できる。
3. ネフローゼ症候群の診断と治療について説明できる。
4. 腎血管性高血圧の病態ならびに画像診断について説明できる。
5. アミロイド腎症ならびに肝腎症候群について説明できる。
6. 糖尿病性腎症、尿酸性腎症の病態を説明できる。
7. 膠原病に伴う腎障害の病態を説明できる。
8. 中毒性・薬剤性腎障害の原因と治療を説明できる。
9. 妊娠による腎への影響を説明できる。
10. 小児の腎尿路疾患について病態・治療を説明できる。

11. ウィルムス腫瘍、神経芽細胞腫の病態・治療を説明できる。
12. 成人の腎腫瘍を列挙し、それぞれの病態・治療について説明できる。
13. 血液浄化、人工腎臓の成果、問題点、今後の展望について説明できる。
14. 急性・慢性腎不全の病態・治療法腎移植の方法、現況について説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/17	火	1	心・腎・内分泌内科分野	相馬 淳 非常勤講師	総講
9/17	火	2	泌尿器科学講座	阿部 貴弥 講師	病理学・腎炎ネフローゼ症候群
9/24	火	1	泌尿器科学講座	阿部 貴弥 講師	糸球体腎炎 I
9/24	火	2	泌尿器科学講座	阿部 貴弥 講師	糸球体腎炎 II
10/1	火	1	心血管・腎・内分泌内科分野	川村 実 非常勤講師	水・電解質代謝
10/1	火	2	心血管・腎・内分泌内科分野	川村 実 非常勤講師	尿細管・腎血管性高血圧
10/8	火	1	放射線医学講座	加藤 健一 特任講師	腎の画像診断
10/8	火	2	消化器・肝臓内科分野	加藤 章信 客員教授	全身疾患と腎障害 I
10/15	火	1	糖尿病・代謝内科分野	高橋 和真 准教授	全身疾患と腎障害 II
10/15	火	2	呼・アレ・膠原病内科分野	小林 仁 准教授	全身疾患と腎障害 III
10/22	火	1	泌尿器科学講座	杉村 淳 助教	全身疾患と腎障害 IV
10/22	火	2	泌尿器科学講座	加藤 陽一郎 助教	小児の腎尿路疾患
10/29	火	1	泌尿器科学講座	杉村 淳 講師	血液浄化療法
10/29	火	2	臨床遺伝学科	福島 明宗 教授	妊娠と腎・妊娠高血圧症候群
11/5	火	1	泌尿器科学講座	藤岡 知昭 教授	成人の腎腫瘍

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
11/5	火	2	外科学講座	水野 大 准教授	ウイルス腫瘍・神経芽細胞腫
11/12	火	1	泌尿器科学講座	阿部 貴弥 教授	人工腎臓の成果と問題点
11/12	火	2	泌尿器科学講座	杉村 淳 講師	慢性腎不全
11/19	火	1	泌尿器科学講座	杉村 淳 講師	腎移植
11/19	火	2	泌尿器科学講座	加藤 陽一郎 講師	急性腎不全

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
	腎疾患 2 版（「新・病態生理 できた内科学」 3）	横山啓太郎 編著	医学教育出版社	2010
	腎臓学：病態生理からのアプ ローチ	黒川清 編	南江堂	1995
	Oxford Textbook of Clinical Nephrology 3rd ed. 3vols	Alex M. Davison ほか	Oxford University Press	2005
	標準泌尿器科学 8 版	赤座英之、並木幹夫 編、香 川征 監修	医学書院	2010
	Williams Obstetrics 23rd ed.	F. Gary Cunningham ほか	McGraw-Hill	2010

・成績評価方法

筆記試験等 90%、出席率等 10%

・特記事項・その他

腎疾患総論	1 回
糸球体腎炎・ネフローゼ	3 回
尿細管・腎血管性高血圧	1 回
水・電解質代謝	1 回

腎血管性疾患の画像診断	1回
全身疾患と腎障害	4回
妊娠と腎・妊娠時高血圧症	1回
小児の腎尿路疾患	2回
成人の腎腫瘍	1回
ウィルムス腫瘍・神経芽細胞腫	1回
血液浄化/人工腎臓の成果と問題点	1回
急性・慢性腎不全・腎移植	1回

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			